さんにち ＮＩＥ ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

イタリア人留学生 巫女に

参拝客対応、舞の練習も

山梨市の神社

イタリア出身の留学生で、東京外国語大2年のデグリ・エスポスティ・マルタさん(23)＝山梨市在住＝は、同市南の差出磯大嶽山神社で、巫女（みこ）を務めている。参拝客への対応を担当しながら、「巫女の舞」の習得にも励む。マルタさんは「憧れだった巫女になれてうれしい」と話している。　〈山本就己〉

マルタさんはイタリア・ボローニャ生まれ。高校で日本語サークルを立ち上げるなど「三味線や茶道、生け花といった日本の伝統文化が大好き」と話す。東京都内で開催された2週間の訪日プログラムで明治神宮を参拝し、荘厳さに引かれて神社に関心を持つようになったという。

参拝客に対応するデグリ・エスポスティ・マルタさん(左)＝山梨市南

高校卒業後に再来日し、日本語学校を経て東京外大国際日本学部に入学。「自然豊かな地方で暮らしたい」と山梨市を居住先に選んだ。昨秋、散歩中に同神社の巫女の姿を見て、交流サイト（SNS）で「巫女として働きたい」と同神社にメッセージを送り、採用が決まった。

境内の御札所で参拝客にお札やお守りを渡すほか、一部の御朱印に筆で文字を記入する。「日本語はまだ完璧ではないが、お参りに来る人がとても優しく接してくれる」と感謝する。松田公仁宮司は「日本語が上手で、分からない言葉をすぐ勉強する真面目さがある」と感心している。

現在は、春の例大祭で披露する「巫女の舞」の練習にも励んでいる。「イタリアでやっていたクラシックバレエとは全然違う」と戸惑いつつも、「仕えている神様のことを思いながら踊ることを意識している」と意欲を見せる。

大学卒業後は日本で就職することを目指している。「まだ就きたい職業は決まっていないが、山梨県内で働くことができたらうれしい」と話している。

峡東

山本　就己
鈴木なつ美

（2025 年 10 月 3 日付　山梨日日新聞 19 面）

問1　イタリア出身の留学生マルタさんは、山梨市の神社で巫女を務めています。マルタさんは、どのような日本の伝統文化が大好きと話していますか。

問2　マルタさんは巫女として、どのような仕事をしていますか。

問3　あなたが、海外に留学するとしたら、どこの国で、どのような文化に触れたいと考えますか。

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2025 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.